

◎宮崎県／五ヶ瀬町 苗植林に60人参加 昨年伐採の山にスギ250本 福岡の住宅建築会社がツアー 3セクの製材所見学も

2006/03/26 西日本新聞朝刊 32ページ 587文字

西臼杵地方特産の高千穂スギを使った産直住宅事業に取り組む福岡県古賀市の住宅建築会社「長崎材木店」（長崎秀人社長）は二十五日、昨秋伐採した五ヶ瀬町の私有林に高千穂スギの苗を植えるツアーを実施。福岡市や北九州市など十四組六十人の施主が参加し、二百五十本の苗を植林した。

ツアーは昨年五月、同町三ヶ所谷下、農林業甲斐希俊さん所有の山（約一ヘクタール）の高千穂スギを買い付ける代わりに、山の管理費などを負担する契約をした同社が施主に林業への理解などを求めて企画した。

植林は、甲斐さん宅から約一キロ離れた山中が現場。施主らは昨秋伐採された〇・一ヘクタールの山肌に、一人当たり四―五本の苗を鍬を使って丁寧に植え、植林者の名前が書かれた標柱を立てた。植えた苗は四十一―五十年後に伐採されるという。

福岡県福津市から家族四人で参加した会社員小林慎太郎さん（41）は「自分や子どもが植えた苗が大きくなって家の建材になるなんて不思議。いい思い出になりました」と話していた。

同社や県西臼杵支庁（高千穂町）などによると、昨秋に伐採した高千穂スギを使った住宅は、これまでに福岡都市圏で数棟が完成しているという。長崎社長は「今後も伐採や植林などのツアーを継続したい」と語っていた。参加者は二十六日、西臼杵郡三町（五ヶ瀬、高千穂、日之影町）が出資の第三セクター製材所「もくみ」（日之影町）を見学する。

《Powered By 日経テレコン》

Copyright © Nishinippon Shimbun All Right Reserved.

Copyrights © Nikkei Inc. All Rights Reserved.

本サービスに関する知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社、西日本新聞社またはその情報提供者に帰属します。

また本サービスは方法の如何、有償無償を問わず契約者以外の第三者に利用させることはできません。